



新年、あけましておめでとうございます！
2018年、初っ端を飾るのは溶接Tの改善内容です。

今年も宮本班長を中心にチーム一丸で改善に取り組んでいきますので、宜しくお願いします！

■【改善】トランプス関連部品 溶接のロボット化

まずは香川係長からの発信で取り組んだトランプス関連部品のロボット化です。

手のひらサイズで大きいものではありません。



溶接前の2部品



溶接後の部品

曲げで隠れている底面奥に溶接です。
※写真が下手ですみません。
ちょうどコの字の曲げ巾がトーチが入るか入らないかの絶妙な寸法。

そこで生産技術部へ相談、製作してもらったロボット用の治具がこちら・・・



1テーブルに16個
多いな～！



果たしてこの目論見は成功するのか？



■結果 ロボット化により 44.2秒/個 短縮大成功！！と思いきや・・・ 宮本班長曰くまだクランプ時の部品の安定性など治具の改善が必要。生産技術部に再度相談して引続き改善していきます！

■11/25 溶接勉強会（ブツツグ A 栓溶接）

高山工場長、的井係長を中心に溶接作業員全員の作業方法、仕上りを確認。



“たかが栓溶接、されど栓溶接”若い作業者にとって改めて熟練者から技術を学ぶ良い機会になりました！



【良くない例】
肉盛りはしているが母材に溶け込んでいない
※外観だけでは分からない



【良い例】
外観ではそれほど肉盛りしていないが母材にしっかり溶け込んでいる